

# リッター7.34で保険割引78%引

## 「もったいない」を社内報通じ意識付け



講演する越野社長



（株）タータ・テック（東京都）は2月3日、大阪で経営者セミナーを開催し、越野運送（大阪府都島区、58台）の越野泰弘社長が「環境」をキーワードに「安全・安心・信頼のブランド」を築くことをテーマに講演を行った。

越野運送は2010年にエコドライブコンテスト優秀賞を受賞し、グリーン物流優良事業者国土交

通大臣表彰を受賞している。

越野社長は燃費の向上が事故発生件数の減少に大きく結びついておりと強調し、月平均26万キロ走行する4トン車52台について西暦2000年時と2014年時を比較。燃費はリッター7.34と14年前と比べ22%上昇し、年間1356万円のコストダウンとなり、自動車任意保険料も78%割引と最高のツールとして「E高割引が5年続いてCO2削減」を社内で毎月発行することにした。A3サイズの用紙一枚に月ごとの燃費向上とターマを変えた

のモチベーションの上げ方としては、過去の燃費について賞金を出したことがあったが、一回だけで終わりが、賞金では燃費向上の意識は継続しないと考え、重要なのは、燃費向上は義務であり、「当たり前」なことと認識させることと明確な目的（「セーフティレコーダー」を活用して点数管理していることも披露。越野社長は「点数は100点を取るな」と常々言っている。黄色信号のときに点数が悪くなるからと止まらず、行ってしまおうのは本末転倒。安全に減速

現在まで75号が出されたが、越野社長は「最も重要なのは『当たり前』の全社員への周知徹底。キーワードは『もったいない』。こういうことがあるからエコドライブしないとダメ、の意識こそ大切」と強調した。

その他、「ヒヤリ・ハットニュース」も発行。従業員からヒヤリ・ハット事例をメモ書き程度で出してもらい、管理部がまとめたものを全員で回覧。ミーティングでも討議の材料とし、安全意識を高めている。

他に数年前から、ドライブレコーダー（セーフティレコーダー）を活用して点数管理していることも披露。越野社長は「点数は100点を取るな」と常々言っている。黄色信号のときに点数が悪くなるからと止まらず、行ってしまおうのは本末転倒。安全に減速

特集を掲載。アイドリングストップ、エコドライブといった身近な燃費対策から、廃棄物、リサイクル、バイオ燃料、温暖化の影響などの環境問題まで特集し、社員に周知させている。

現在まで75号が出されたが、越野社長は「最も重要なのは『当たり前』の全社員への周知徹底。キーワードは『もったいない』。こういうことがあるからエコドライブしないとダメ、の意識こそ大切」と強調した。

その他、「ヒヤリ・ハットニュース」も発行。従業員からヒヤリ・ハット事例をメモ書き程度で出してもらい、管理部がまとめたものを全員で回覧。ミーティングでも討議の材料とし、安全意識を高めている。

するよう指導して、「と話していた。」